

東郷町議会議長 箕浦 克巳 殿

東郷町議会議員

議席番号16番 氏名 星野 靖江



## 一 般 質 問 通 告 書

東郷町議会会議規則第59条第2項の規定により、次の事項について質問したいので通告します。

記

No. 2 - 1

質問事項	質問要旨	答弁者
1 住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくり	<p>急速な少子・高齢化の進展に伴い、安心していきいきと普通に暮らせる社会整備は重要な課題と考えています。</p> <p>そこで、地域福祉の観点から地域で寄り添い、暮らし続けられるような馴染みの関係を切り離すことのないよう継続するには、制度だけで対応できない場合があります。</p> <p>誰もが住み慣れた地域で、いつまでも安心して過ごせることができるような取り組みについて質問します。</p> <p>①在宅医療・介護の連携は、在宅生活を支援するうえで重要であります。昨年4月から医療や介護、福祉の多職種が情報を共有して支援する電子連絡帳「レガッタネットとうごう」が導入されましたが、現在の利用状況と今後の取り組みは。</p> <p>②在宅医療体制の今後の取り組みは「地域の多職種連携事業」として病院・地域・行政や医師会などの連携により、ケアの質の向上や在宅療養生活などに関する社会福祉サービスのニーズが求められています。</p> <p>昨年10月、東郷町と豊明市、そして藤田保健衛生大学が地域医療・介護の連携を推進する拠点施設「地域医療連携センター」の設置に関する協定書の締結がされました。本年7月には開所に向けた準備をされていると思いますが、地域医療連携センターの主な業務とその進捗状況は。</p>	町長 担当部長

(注) 要旨は、具体的に記載すること。

質問事項	質問要旨	答弁者
2 まちづくりと地域振興について	<p>③本町の福祉をさらに推進するためには、住民の皆さんによるボランティア活動が重要な役割を担っていると思っています。 ところが、昨年3月にボランティア連絡協議会が解散しました。 当局は地域福祉を低下させないため、ボランティア活動に対する支援体制の取り組みは。</p> <p>④昭和40年代の高度成長期に建設された押草団地はエレベーターの設置が無い棟もあるなど、高齢化の進展に伴い、住環境が変化してまいりました。町内では一番高い場所に位置し、若い頃は気にならなかった坂道…。そして、生活必需品等の購入場所も敷地内にはありません。 また、押草団地内の現状は今後、老老世帯、独居世帯がさらに増加傾向にあり、孤立状態にある高齢者は不安を抱えています。 そこで、高齢者の日常生活支援対策についての取り組みは。</p> <p>⑤高齢化の進展により、要介護者は増加傾向にあります。 そこで、日常生活支援の観点から、生活ニーズを把握する必要があると思います。 本町は「地域包括ケア」の実現と拡大に向け鋭意努力されていますが、高齢者福祉計画の策定に伴う「アンケート調査」による具体的な内容は。</p> <p>新たなまちづくりを推進するために、至近距離から独自性をもつ「まちの魅力発信」の観点から、情報提供・情報共有・意見交換ができるような取り組みに関する当局の考えについて質問します。</p>	<p>担当部長</p> <p>町長 担当部長</p>

(注) 要旨は、具体的に記載すること。